

平成 19 年度・平成 20 年度
～「実践型人材養成システム」普及のための地域モデル事業
実施団体好事例集～
【④社団法人全国老人保健施設協会(介護職員)】

○モデル事業導入にあたって

介護業界の人材確保の問題については、近年特に介護福祉士養成学校の減少の要因もあり専門性を有した人材の確保は一段と厳しくなっている。このような中、介護福祉士をはじめ有資格者の確保に各施設（各企業）において取組の必要性があることから、実践型人材養成システムを介護分野に活用することとした。

○企業におけるメリット

- ・若者育成に積極的な施設であることのPRが可能となる。
- ・支援制度（助成金等）を活用することにより訓練実施に係る企業の負担軽減が見込める。
- ・訓練生にホームヘルパー2級の資格を取得させたうえで、OJTを実施することが出来る。
- ・施設が求める現場の中核的人材の育成・確保が可能となる。
- ・就業者のキャリアアップによる技術向上のみならず、OJT教育訓練担当者のスキルアップ、職場全体の就業意識の向上等、結果的に介護サービス全体の質の向上につながる

○モデル事業実施（訓練実施）にかかる好事例

- ・各委員会が実施している勉強会に訓練生を参加させることにより、基礎的な知識が身につけられたとともに、本人もそれらを取り入れた介助ができるようになった。
- ・ケアプランの理解・立案に向けての指導を実施したことにより、介護職の役割と他職種との連携の重要性が理解された。
- ・自己評価、企業評価をしたことで、今後の追指導すべきことの把握ができた。
- ・通所配属のスタッフを1ヶ月限定で入所部門において指導したことにより、技術が向上した。
- ・反省会を実施し、職業人としての認識を再確認、自覚してもらうよう指導

することによって、専門職としての自覚が出来たようだ。再度、ケアプランの重要性を実施し、利用者の変化に対する洞察力がいかに重要か、また、モニタリングに対して、介護老人保健施設の特徴である多職種連携システムに対して理解出来たようだった。

- ・ 訓練開始してすぐにホームヘルパー 2 級取得講座に出てしまうが、精神的に弱い実習生がいた施設では、知識、技術の教育もさることながら、心のケアに工夫をして対応しうまくいった。そうした支援が大事。

○これから取り組む企業の方へ

介護業界における課題は当該訓練を実施するにあたって「ヘルパー 2 級の Off-JT 実施教育訓練機関」の確保です。民間の教育訓練機関にお願いする場合は、一定の人数を集めないと実施が難しい状況です。1 施設でこの人数（おおよそ 20 人）を確保することは現実的に難しいことから施設（訓練実施企業）同士が協力しあって人数をまとめて実施するのが現実的な対応となっています。

少子高齢化の影響もあり、介護福祉士養成学校も定員割れの一途をたどっており、今後、介護業界においては自らの手で介護職員の養成をしなければなりません。各施設のみなさんには、助成金制度も手厚いこのような制度があるうちに活用し、自らの介護職員の養成システムを確立していただき、理想のケアを提供することができる体制づくりが望まれます。